

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年9月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2018年9月7日～28日
- 調査対象 200社
- 回答企業 110社
- 回収率 55.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の9月の状況を見ると業況DIは、前月より11.5ポイント悪化の▲30.9となった。

2017年9月以来13ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲27.9、当月に比べ3.0ポイントの改善を見込んでいる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2018年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 2018年10月～ 12月
業況	▲24.1	▲21.9	▲23.9	▲19.3	▲19.4	▲30.9	▲27.9
売上	▲18.7	▲14.9	▲18.2	▲7.9	▲12.8	▲25.2	▲16.3
採算	▲22.4	▲21.9	▲21.8	▲17.5	▲21.1	▲31.5	▲27.0
仕入単価	▲33.0	▲39.4	▲36.4	▲39.8	▲42.6	▲38.7	▲31.5
従業員	32.1	31.9	32.7	25.4	32.4	27.9	33.3
資金繰り	▲8.0	▲6.2	▲4.5	▲4.4	▲6.5	▲7.2	▲7.2

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2018年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 2018年10月～ 12月
建設	▲19.3	▲16.0	▲18.5	▲25.9	▲30.8	▲34.6	▲22.2
製造	▲29.2	▲27.6	▲37.5	▲28.0	▲30.8	▲26.9	▲23.1
卸売	▲23.8	▲28.6	▲30.0	▲8.3	0.0	▲33.3	▲28.6
小売	▲23.5	▲29.4	▲33.3	▲25.0	▲11.7	▲17.6	▲35.3
サービス	▲25.0	▲9.1	0.0	▲9.1	▲15.0	▲40.0	▲35.0

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・工事受注量減少。慢性的な職員不足により工事受注したくても出来ない。下請業者不足による施工単価の上昇。資機材の価格上昇。（総合工事） ・自社課題としては技術職員不足、協力業者の技術職員不足。業界の課題としては全体的に仕事量が減少傾向にある。（設備その他） ・地震の影響により、仕入業者からの資材が滞っているため、工事が遅延するなど影響が大きい。完成時期の遅れや資材の高騰により資金繰りの悪化が懸念される。（建築） ・大規模工事は少ないが現場量としては昨年並み（建築）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は前年比を維持しているが仕入単価の上昇及び生産性の悪化により採算が苦戦。生産性の悪化の要因としてサービス業への流出が増え（人手不足）、多品種少量生産になっている。（食料品） ・長期的な紙媒体の印刷物減少傾向がある中で、今回発生した胆振東部地震の影響で、イベント関係や小売業の販促印刷物が作成中止となり、9月はさらに受注減となる見込み。減少額を穴埋めする案件は当面乏しい。（印刷・出版） ・売上高前年に比べ増加するも、収益は前年と概ね変わらず。（仕入価格の上昇影響か・・・）（家具・木材） ・節電呼び掛けによる生産力の減少が気になる。（金属窯業他）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・震災による消費者の買い控え（繊維） ・前年度よりも若干の売り上げ増である（機械鋼材） ・9月に入り灯油の仕入れ価格が上昇しており、これから需要期に入るため、販売価格も上昇傾向となると想定されます。（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化（寒暖差）があり、月前半は秋物商品の動きは全くない。2月、8月が季節の変わり目、衣替えの月度売上が一番厳しいが、近年は9月の売上が伸びず、今回は地震もあり売上は前年の50%に落ち込みそう。（衣服見回品） ・設備の老朽化（食料品） ・従業員不足が解消されない（その他）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・9月6日の大地震の影響で北海道の宿泊8割キャンセル。市内はじめ全道のホテル9月の予約に相当のダメージ。当社もホテルリネン5割近く減少。病院寝具、ホームクリーニングは、前年比変わらず。（理美容クリーニング） ・9月6日、7日の停電のため運休となり売上の減少。又、燃料の高騰は続くと予想される。（運送） ・地震により、当面の自粛やインバウンドの減少が痛い。（ホテル・旅館） ・地震の影響により、9月は営業停止日があり、9月中のイベント関係が中止等で国内旅行代理店、海外旅行代理店がキャンセル。今後は特にインバウンドの減少が懸念される。（ホテル・旅館） ・9/6の地震によるキャンセル・売上損失で厳しい状況が続く。先行き不透明。（ホテル・旅館） ・地震後、売上が下がっている。観光客が減少しているのでは？電気の問題を早く解決して欲しい。（飲食） ・天候不順により客足激減。地震の影響で一時的に客数は増えたが人手不足で対応できず。土日祝働ける人材の確保が非常に困難。（飲食） ・自動車業界、事故が減ってきている。（整備）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI11.1 ポイント悪化、採算 DI11.1 ポイント悪化、仕入単価 DI2.1 ポイント悪化、資金 DI3.7 ポイント改善、従業員 DI1.9 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 3.8 ポイント悪化となった。業種別では、建築 25 ポイント改善、設備・その他横ばい、総合工事 12 ポイント悪化となった。工事受注量減少。慢性的な職員不足により工事受注したくても出来ない。下請業者不足による施工単価の上昇、資機材の価格上昇との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI ほぼ横ばい、採算 DI3.9 ポイント改善、仕入単価 DI19.2 ポイント改善、資金 DI19.2 ポイント改善、従業員 DI7.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 3.9 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。業種別では、食料品 33 ポイント、印刷・出版 10 ポイント悪化、家具・木材 14 ポイント、金属窯業他 11 ポイント改善となった。長期的な紙媒体の印刷物減少傾向がある中で今回発生した胆振東部地震の影響でイベント関係や小売業の販促印刷物が作成中止となり 9 月はさらに受注減となる見込との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI30.5 ポイント悪化、採算 DI23.2 ポイント悪化、仕入単価 DI6.1 ポイント悪化、資金 DI9.0 ポイント悪化、従業員 DI1.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 33.3 ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材横ばい、繊維・衣服等 50 ポイント、食料品 50 ポイント、その他 33 ポイント悪化となった。9 月に入り灯油の仕入価格が上昇しており、これから需要期に入るため、販売価格も上昇傾向となると想定されるとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI11.7 ポイント改善、採算 DI11.7 ポイント改善、仕入単価 DI11.7 ポイント改善、資金 DI17.6 ポイント悪化、従業員 DI は 5.9 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 5.9 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品 25 ポイント改善、食料品、自動車横ばい、その他 35 ポイント悪化となった。従業員不足が解消されないとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI35.0 ポイント悪化、採算 DI35.0 ポイント悪化、仕入単価 DI5.0 ポイント悪化、資金 DI10.0 ポイント悪化、従業員 DI20.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 25.0 ポイント悪化となった。業種別では、その他 70 ポイント、整備業 17 ポイント回復、飲食横ばい、理美容・クリーニング 100 ポイント、ホテル・旅館 80 ポイント、運送 83 ポイント悪化となった。9 月 6 日、7 日の停電のため運休となり売上減少。燃料の高騰は続くと思われとの声も寄せられている。</p>